

佳作

僕が知った優しさ

所沢市立北野中学校 3年

北脇 剣飛

僕は生まれつき脳性麻痺により足が思うように動きません。自分は思うように動けないので、同じことは出来ませんが、双子の兄や友達と一緒にいれるだけでも楽しい気持ちになります。

小学校の入学式の時はどうな子達がいるのか、どんな学校生活になるのか、とてもワクワクしていました。体育館に入ると、みんなは歩行器と僕の歩き方が気になっているようで、ジーンと僕と歩行器を見られたので僕は不安な気持ちになりました。僕は交流クラスに行きたかったので、お母さんが交流クラスの先生に交渉した結果、すぐに交流クラスに行くことができました。自己紹介をするときは緊張したけど、上手に喋る事ができました。僕が一番びっくりした事は、みんなが誰も足の向きや歩き方をバカにしなかったことです。交流クラスのみんなは僕のことを普通の子のように接してくれて嬉しかったです。小学校三年生になった時に、僕が好きな理科と社会が始まったので、たくさん交流クラスに行かせてもらいました。みんなと一緒にたくさん授業に参加することができて楽しかったです。レクリエーションをする時には、僕が参加しやすいようにわざわざ僕の教室に相談しに来てくれました。そういうのがとても嬉しかったです。小学六年生になった時は六年生が僕一人だったので、修学旅行では交流クラスの班の子達と一緒に過ごしました。一緒に写真を撮るのも楽しかったです。

中学校に入学した時も小学校と同様に、階段に手すりや昇降口に歩行器用のスロープを付けてもらいました。とても助かっています。中学校に入ると、小学校と同じように僕に話しかけてくれるかを気にしていたのですが、みんな変わらずに僕に話しかけてくれて嬉しかったです。中学二年生の時は、支援級の先生とお母さんと一緒に自然体験学習に行きました。山梨県の樹海も一番ゆっくりなコースをみんなと一緒に行きました。樹海までは歩いたのですが、洞窟に入るまでの道は歩くのが難しかったので、先生におんぶしてもらい洞窟に入りました。洞窟の中は、首にライトをかけて四つん這いで洞窟の中を進みました。洞窟の中は暗くて寒かったです。自然体験学習のスタンプでは、僕は何もやる事が無いと思っていたら、交流の先生が仲の良い友達とセリフを半分ずつにして参加させてくれました。セリフがもらえて嬉しかったです。合唱コンクールでは僕の学校の支援学校はハンドベルの演奏をします。僕用に机に置いて演奏するハンドベルを用意してくれました。音が出しやすく、演奏しやすかったです。

中学三年生になると身長が伸びて足の筋が短くなったのか、足が震えるクローヌスという症状が、小学三年生以来ぶりに起こりました。クローヌスは修学旅行の事前発表中にも起きました。緊張していると足に力が入りやすいので、起きやすいことが分かっています。そのことを先生に話して修学旅行で先生に足をほぐしてもらいました。修学旅行は去年とは違いお母さんの付き添い無しで先生達と行きました。修学旅行では車いすと歩行器どちらも使いながら行きました。タクシーの運転手さんにも歩行器の組み立てや車いすを押してもらったり、色々お手伝ってもらってとても助かりました。

今までこんなに僕を手伝ってくれている人がいたのに、なかなか感謝を伝えられていなかったです。この作文を書きながらもっと色々な人に感謝しようと改めて思いました。